

地域計画策定に向けて ～担い手を交えて意見交換～



大衡村農業委員会（浅野一郎会長）は12月15日、大衡村認定農業者倶楽部と共催で意見交換会を開催し、農業委員や認定農業者など約20名が参加した。講師の東北農政局から来年度より本格化する地域計画の説明を受けた後、出席者との意見交換が行われた。

意見交換会では、地域の後継者不足が話題の中心となったが、地域計画づくりの話し合いの中で、新たな担い手の発見につながるのではないかと期待する一幕もあった。

認定農業者倶楽部の伊藤正夫会長（60）は「地域計画策定が進まない地域では、村や農業委員会、JAなどの地域農業を客観的に見られる第三者を交えて素案を作り、それを土台に地域ごとに話し合い、調整した計画を作るのも手だと思う」と述べた。

浅野会長（69）は閉会のことばで「地域計画の策定は、まず話し合いの場に地域の人々を集めることが重要だ。農業委員や推進委員が調整役となり、機会を設けるための活動をしなければならない」と話した。

